

総合戦略実行計画に係る創生会議意見（平成 29 年 3 月 27 日）の内容と意見に対する市の考え方

No.	創生会議意見	意見に対する市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	実行計画 ページ番号
1	広報ふっつ、市ホームページについて、成果目標を下方修正している理由は何か。	スマートフォンからのアクセス件数が集計できていないため現段階では下げた。システム対応し集計可能となった段階で目標数値を上げる。	秘書広報課	無	P10
2	古墳の里ふれあい館、富津埋立記念館について、成果目標をもっと上げてもいいのではないかな。	古墳の里ふれあい館について、現在職員は配置していない。今後活用について検討していきたい。	生涯学習課	無	P11
		富津埋立記念館については、平成 27 年度から入場料無料とした。職員配置は無く、公民館職員で来館者対応をしている。人員配置は難しいため現状維持とした。維持管理を図りつつ企画展等を検討したい。	公民館	無	P11
3	報償費を上げて文化財の保護に力を入れることができるか。	文化財については所有者管理が原則であるが、世代が代わることで問題が発生する場合もあるので、見直しをしなければならないと考えている。	生涯学習課	無	P11
4	自治会について、自治会の存在意義や必要性の周知が必要とある。区の業務を区長一人で行っているわけではないので、区の役員等に区長報酬を案分することができないのか。	区長については設置規則に基づき委嘱をしているため、区長への報酬としている。なお、平成 27 年度から区長報酬については、金額を見直ししている。自治会活動については自治振興交付金が活用いただける。 また、自治会加入の広報として、今年から転入者へ自治会加入の案内チラシを配布している。	市民課	無	P12
5	地域包括支援センターに相談に行くまでの交通手段についてどのように考えているか。	地域包括支援センターについては、市内 3ヶ所に設置している。地域包括支援センターまで行くことが難しい場合は、連絡をもらい自宅へ訪問する体制をとっている。高齢者の足の確保については課題となっているので、今後調整したい。	介護福祉課	無	P18
6	滞在型就農体験の内容はどんなものか。	平成 28 年度については加速化交付金を活用し AFICC とともに実施した。移住してもらうためには富津市を知ってもらうことが重要となると考えているので、農業体験できるものをこれから検討していきたい。	農林水産課	無	P31

総合戦略実行計画に係る創生会議意見（平成 29 年 3 月 27 日）の内容と意見に対する市の考え方

No.	創生会議意見	意見に対する市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	実行計画 ページ番号
7	農業体験等に平成 29 年度から予算が無い理由は何か。	平成 28 年度は加速化交付金の事業費があった。平成 29 年度は事業内容未定であるため予算計上できていない。民間活用も視野に入れて、予算化を検討していきたい。	農林水産課	無	P 31
8	バスストップの停車便数を成果目標にしているが、利用者数にしないのか。	バスストップ建設にあたって目標乗車数を 7 万人と設定しているが、バスストップを整備することにより、市内を走る高速バス（館山ルート）の全便が利用可能となること及び、現在は東京駅行きのみ停車だが、多方面の便の利用が可能となることから、原案のとおりバスストップの停車便数を成果目標とする。	建設課	無	P 25
9	市内、市外の高速バス利用者数は把握できているか。参考まで現在の利用者はどのくらいか。	天羽地区と大佐和南地区の人口、上総湊と竹岡の高速バス利用者数から 7 万人と設定したが、市内、市外の把握はできていない。年間利用者は上総湊駅前で約 2 万人、竹岡で約 6 千人と把握している。	建設課	無	P 25
10	移住、定住促進について、いすみ市では手厚い移住支援制度があるが、富津市の移住支援の方向性はどうか。 地域おこし協力隊等の国の制度の活用の方向性はどうか。	AFICC 事業も官民連携で行っているところであり、補助金を出すことが目的とならないような取組をいすみ市等の先進事例を参考に調査研究し検討していきたい。	企画課	無	P 32
11	捕獲した有害鳥獣の処理場について記載があるが、捕獲する人材の現在の状況、今後の展望はどうか。	当市において捕獲している方は現在約 110 人いる。これは年々少しずつではあるが増加傾向である。ただし、高齢者が多いため今後減少が見込まれる。狩猟免許取得のための補助金を予算化しているが、鳥獣対策については地域一体となって捕獲活動を進めることが重要であるため、そういった施策を検討していく。	農林水産課	無	P 39
12	鋸南町はジビエをイベント化している。担い手を地域外から招聘することも検討をお願いしたい。	そういった取組も検討していきたい。	農林水産課	無	P 39
13	児童遊園地管理運営について、安全な公園とは何か。	木の伐採、草刈、遊具の老朽化への対応等による安全管理をするものである。	子育て支援課	無	P 27

総合戦略実行計画に係る創生会議意見（平成 29 年 3 月 27 日）の内容と意見に対する市の考え方

No.	創生会議意見	意見に対する市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	実行計画 ページ番号
14	遊具更新費の予算が無い理由は何か。	新しい遊具への更新をせずに修繕で対応することとしているためである。	子育て支援課	無	P 27
15	市民ふれあい公園について、利用促進、サービス向上の具体的な内容は何か。	原則利用日を超えて、夏休みのナイター利用等柔軟に対応している。	都市政策課	無	P 28
16	定住奨励金について、打切りとのことだが、一時金の支給、住宅ローン利用者への利子補給等をできないか。	定住奨励金の実施結果、奨励金が移住のインセンティブにはなっていないため延長をしなかった。より効果のある施策を検討していきたい。	企画課	無	P 32
17	今回の会議資料として、施政方針の送付があったことは良かった。また、前回会議で意見した点について改善が見られた。今後も、わかりやすい市民へのPRを継続していただきたい。 郵便局では手紙やお金の大事さに関する講座を無料で実施しているので活用してもらいたい。	今後もわかりやすい市民へのPRを継続する。	秘書広報課 企画課	無	実行計画全般
18	本会議でとりあげる内容ではないかもしれないが、小中学校再編計画については施政方針にも記載があり、総合戦略の中に位置づけられると良い。 また、天羽中学校の改廃について、学校は地域の核となる重要な施設であり、一度建てると数十年間建替できないし、街づくりもこの機会でないといけないので天羽中学校を公共交通、街づくりの拠点として考えられないか。 政策間連携を市全体で考えてもらいたい。	小中学校再配置計画については、学校教育課が窓口となって地域に説明会を実施しており、委員と同様の意見も伺っている。 天羽中学校は当初大規模改修の予定で進めており、それに基づいた中で体育館等の改修を計画してきたところである。 公共交通については、持続可能な公共交通網を形成するための計画を策定する予定であり、市民の移動実態等を踏まえて検討していきたい。 また、総合戦略での位置づけについては、今後定期的な総合戦略の見直しの中で検討したい。	教育総務課 企画課	無	実行計画全般
19	ふれあいスポーツフェスタを通じて縁を結ぶとはどのようなものか。 ふれあいスポーツフェスタそのものはよい取組だと思う。市民が多く集まるイベントなので、具体策を検討いただきたい。	ふれあいスポーツフェスタについては、事業内容を実行委員会で決定しているため、若い人が担い手になることで縁を結ぶきっかけづくりとなるよう協議していきたい。現状は特に具体化できていないため、今後検討したい。	生涯学習課	無	P 43

総合戦略実行計画に係る創生会議意見（平成 29 年 3 月 27 日）の内容と意見に対する市の考え方

No.	創生会議意見	意見に対する市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	実行計画 ページ番号
20	子育て応援ガイドブックについて、70 ページほどあるため普段持ち歩いて利用するのは考えにくい。配布して終わりではなく、配布から始まると考えてもらいたい。また、何でも聴きます窓口につなげないとならない。 何でも聴きます窓口について、どのような方が配置されるのか。また、どういったことをするのか。	何でも聴きます窓口については、平成 29 年 4 月 1 日から子育て支援課に設置する。窓口には家庭相談員、母子父子自立支援員、家庭教育指導員、相談受付担当の非常勤の職員を配置する。予算は非常勤の職員の賃金、子育て啓発用パンフレット費用を計上している。	子育て支援課	無	P 45
21	何でも聴きます窓口について、非常勤職員はどういった人か。 総合窓口になるので、多方面に知識がある方でないと難しいと感じるが、新しい取組なので是非成果を期待したい。	特定の資格を有する職員の配置ではなく、子育て経験のある人が総体的に事務、窓口の対応をするものである。	子育て支援課	無	P 45
22	ファミリーサポートセンターの運営状況、利用実態はどのようになっているか。 会員数はさらに増える見込みか。	平成 28 年 4 月から富津市社会福祉協議会で事業開始し、100 件を超える依頼があり、キャンセル等により 2 月末時点で 80 件程度実施した。塾の送迎、保育所送迎が主なものである。 まかせて会員 13 名、お願い会員 51 名、どっちも会員 5 名の登録であった。今後周知し、当初目標の会員数 100 名を目指していきたい。	子育て支援課	無	P 46
23	放課後学習教室モデル校とはどういうものか。 モデル校は今後、実施校を拡大するのか。	放課後学習教室については、平成 29 年度から設置し、その日の学習でつまずいたところの解消、児童の意欲喚起に着目し、学校が終わった時間から教室を 1 つ開設して非常勤職員が支援するものである。 モデル校で課題や成果を洗い出しながら今後検討していきたい。	教育センター	無	P 56
24	ノリ共同加工施設について、毎年 1 棟ずつだと何十年もかかり、後継者の確保が継続できない。 千葉県内では、富津で 7 割程度ののりを生産している。なるべく早期に実施願いたい。	莫大な費用が必要なことから単独費では難しく、国等の補助金が必要になる。来年度は採択されなかったため、再来年度の実施になる。 市としても重要な基幹産業と考えている。県と連携して生産強化をしていきたい。	農林水産課	無	P 74

総合戦略実行計画に係る創生会議意見（平成 29 年 3 月 27 日）の内容と意見に対する市の考え方

No.	創生会議意見	意見に対する市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	実行計画 ページ番号
25	漁業についても、体験型、滞在型の事業を進める必要があるが、宿泊施設が市内にあまりない。何か策はないのか。 市としてはどのような考えか。	現在ある宿泊施設の宿泊利用者は増加傾向である。施設建設となると民間ベースの話になるが、調整を図っていききたい。 また、富津公園を中心としたスポーツ利用客の受入態勢を検討したい。	商工観光課	無	P 80
26	ふるさと納税について、返礼割合を 3 割とするような報道があった。ふるさと納税の寄附は減ると思うが目標値はそのままが良いのか。	前年度と比較して 10 倍の寄附実績があったことから、この目標値とした。返礼割合については、4 月に正式通知があるとのことなので、通知を待って、対応策を検討したい。	企画課	無	P 64
27	企業誘致奨励金について、固定資産税相当額を奨励金として交付している。資産価値が年々変わるが、この制度の損益分岐点は試算しているか。また、メリットデメリットの分析はしているのか。	進出企業へアンケートを実施し、結果を取りまとめ中である。その結果を踏まえて、インセンティブになるような制度改正を検討していく。	企画課 (平成 29 年度 商工観光課)	無	P 60
28	中小企業資金融資利子補給について、実施した効果について把握しているか。	平成 28 年度に融資を受けた企業へアンケート調査を行った。153 件中 94 件の回答があり、融資を受けたことによりどのような利点があったかという設問に対しては、「資金繰りが安定し事業に専念できるようになった」、「設備が整い経営状況が良好になった」、「事業計画が立てやすくなった」などの回答があった。今後も継続してほしいとの意見もあった。	商工観光課	無	P 61
29	企業から喜ばれているのは事実であるとわかった。融資を受けている企業が儲かっているのかどうかは把握できているのか。	経営状況が良好だという旨の回答が約 7 割あるので、経営状況は安定していると類推している。今後必要に応じて、金融機関とも連携して追跡調査を検討したい。	商工観光課	無	P 61
30	商工会支援についての効果はどうか。	市商工会育成補助金については、商工会に経営改善指導事業の目的のために補助金を出している。内容としては各種講習会の開催、申告対応、金融斡旋、巡回指導等を行う。また、プレミアム付商品券、商工祭、観光イベントへの参加等の地域振興事業を実施しているので、投資効果について適切に判断できる方策を検討したい。	商工観光課	無	P 66

総合戦略実行計画に係る創生会議意見（平成 29 年 3 月 27 日）の内容と意見に対する市の考え方

No.	創生会議意見	意見に対する市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	実行計画 ページ番号
31	ふれあい公園は素晴らしいが飲食店のないことが寂しい。様々な制約があるかと思うが、人が訪れたい公園にするため、何か検討できないか。また、散歩しているとごみの放置がひどい。	ふれあい公園は近くに商業施設があり、需要に応えられていると考える。ごみについては管理者が巡回しているが、発見した場合は連絡してほしい。	都市政策課	無	P 28
32	チャイルドシート貸付事業は、利用後の汚損等があることから、貸出事業になじまないのではないかと。 チャイルドシートを備えることは、個人で対応するものだとして認識している。要望ではなく、意見として聞いてもらいたい。	チャイルドシートの貸出については、子どもを自動車に同乗させる際、チャイルドシート装着義務付けに伴って全国的に広まった。貸出や補助をやめる自治体も出てきている。 本事業は平成 28 年 4 月から富津市社会福祉協議会に委託して実施しており、17 台中 15 台程度は常に貸出している状況である。 また、クリーニング等を含め、管理は富津市社会福祉協議会に委託しているが、費用が発生する場合は別途相談としている。	子育て支援課	無	P 49
33	実行計画の全体の傾向として、丸投げするような事業計画になっている。民間の力を活用するとしても、関係作りの土台がないと、皆で支え考えていかないと進まない。 都会に向けての価値が取り上げられるが、富津市へ向けてのアクセスを皆で考えていかなければいけない。	何をもって丸投げするような事業計画と判断されているかわからないが、市民とともに実行する総合戦略なので、適宜関係者と協力して実行していきたい。	企画課	無	実行計画全般
34	鳥獣対策について、狩猟者が増えれば事故も増える。実際に狩猟用の檻の罠に子どもがかかってしまったことがある。人災の対策も検討してもらいたい。	毎年 4 月の広報紙に罠の注意喚起を掲載しているが、捕獲事業者にも注意看板設置を徹底するよう指導していく。	農林水産課	無	P 39
35	青堀駅のバリアフリー化はどのようなものか。	バリアフリー化事業としてはエレベーター設置、多機能トイレ整備について、平成 29 年度に概略設計を予定している。乗降客 3,000 人以上の駅のバリアフリー化であれば国庫補助対象事業になる。なお、車両とホームの段差は対象外である。 市内交通については地域公共交通会議を設置し、計画	企画課	無	P 24

総合戦略実行計画に係る創生会議意見（平成 29 年 3 月 27 日）の内容と意見に対する市の考え方

No.	創生会議意見	意見に対する市の考え方	担当課	実行計画 修正の有無	実行計画 ページ番号
		策定を予定している。			
36	浅間山バスストップと駐車場との位置関係について、バスストップの駐車場から乗り場までが遠いと聞いているがどのように対応するか	バスストップの駐車場まで最短経路となるようにネクスコ東日本と協議中である。	建設課	無	P 25
37	自主防災組織は大事であるので推進を進めて欲しい。組織率 100%をどのように目指していくか。	各自治会に対し出前講座を行い、年間延べ 2,000 人ほどの市民を対象に自主防災組織の必要性を説明し、昨年度は自主防災組織が 1 団体組織された。今後も出前講座を継続し組織設立後のフォローアップも併せてしていきたい。	防災室 (平成 29 年度 防災安全課)	無	P 21